

決算報告

平成19年度

西条市の一般会計、特別会計、企業会計

財政状況をお知らせします

決算のごあいさつ



西条市長
伊藤宏太郎

平成19年度の西条市の決算がまとまりましたので、お知らせします。

一般会計の決算額は、歳入40億8,394万円で、歳出38億8,394万円で、差し引き19億7,021万円の剰余（余り）となっています。このうち翌年度へ繰り越した事業に充てたための財源51億1,200万円を除いた実質収支は、19億1,909万円の黒字となっています。各特別会計の決算状況やその

概要は、別記（4ページ）のとおりとなっています。

平成19年度は、国からの税源移譲や好景気を反映した税収の増加はありましたが、地方交付税や国庫補助負担金等は減額となったため、引き続き非常に厳しい財政環境となりました。

しかし、そうした状況の中でも、多様化する行政ニーズに積極的に対応し、重要かつ緊急度の高い施策の選択に努め、限られた財源を効率的に活用しながら、市域全体の均衡ある発展と一体感の醸成に向けて、各種事業を精力的に実施しました。

今後とも、簡素で効率的な行政運営を基本とし、誰もが元気で幸せに暮らせるまちづくりを推進するため、全力を傾注してまいりますので、なお一層のご理解とご協力をお願いいたします。

予算・決算とは？

予算とは、1年間の収入（歳入）と支出（歳出）に関する見積もりをまとめた「計画」のことです。決算とは、実際の収支をまとめた「実績」に当たります。

市の会計は3種類

一般会計

福祉や教育、道路整備など、市政運営の基本となる会計です。

特別会計

国民健康保険や介護保険など、一般会計と区分する必要がある特定事業の会計です。

企業会計

企業経営という観点から、独立して経理する会計です。

※本文中の金額は、1万円未満を四捨五入しています。

市民1人当たりの計算は、平成20年3月31日現在の人口（115,047人）を基にしています。

平成19年度の主な事業



観光交流センター整備事業



AED設置事業
写真は東予南地域交流センターのAED



丹原公民館建設事業



石根公民館建設事業